

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 1 月 20 日作成)

小委員会名	耐震性能評価・改修小委員会		主 査 名：立道郁生 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：中島正愛 主 査 名：小河利行
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>地震時の避難施設として期待されている学校体育館などに対して、現在、耐震診断、耐震改修が進められているが、現行の方法では、必ずしも体育館を代表とする空間構造の動的挙動を反映していないことや、避難所としての機能阻害要因について十分検討されていないことなどがたびたび指摘されている。</p> <p>まず現状の診断法・改修法について調査を行い、それに基づきより合理的な耐震性能評価法、改修法のあり方について調査・研究する。これらの成果に基づき、空間構造物の特性を反映した総合的耐震性能評価法に関する研究成果を社会に還元することを目的とする。</p> <p>2008 年度：空間構造の耐震性能評価・改修方法の現状と問題点を整理する 2009 年度：整理された項目を分担し、調査研究を実施する 2010 年度：「(仮題) 学校体育館の耐震診断・改修方法の課題と取り組み」と題したセミナーを開催する 2011 年度：学校体育館など空間構造の総合的耐震性能評価手法に関するまとめを行う</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：なし</p> <p>主査 立道 郁生 (明星大学) 幹事 諸岡 繁洋 (東海大学) 石川 浩一郎 (福井大学) 石原 直 (国土技術政策総合研究所) 大崎 純 (京都大学) 加藤 史郎 (豊橋技術科学大学) 竹内 徹 (東京工業大学) 那花 謙二 (バコーポレーション) 古川 忠稔 (名古屋大学) 山下 哲郎 (工学院大学) 松岡 祐一 (新日鉄エンジニアリング) 松本 幸大 (豊橋技術科学大学) 中澤 祥二 (豊橋技術科学大学) 藤原 淳 (太陽工業株式会社)</p> <p>(順不同)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>2009 年度まで「空間構造の地震リスク評価 WG」 (設置期間 2008 年 9 月～2010 年 3 月) ・建築物の総合的耐震性能を評価する手法の一つとして、地震リスク評価がある。体育館等の地震リスク評価手法を調査・研究し、研究レポートを作成した</p> <p>2010 年度より「空間構造の応答制御と減衰 WG」 (設置期間 2010 年 4 月～2012 年 3 月) ・空間構造の耐震性能向上に適用可能な応答制御技術の調査・研究 ・応答制御技術や理論を用いた耐震改修法の提案</p>		
2009 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4回（年度内計画を含む） 開催日 5/12, 8/3, 10/16, 2/5
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物 （シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前年度の成果に基づきレポート『学校体育館の耐震診断方法に関する問題点、疑問点「屋内運動場等の耐震性能診断基準（平成 18 年度版）」について』を作成し、個々の項目について議論を進めた</li> <li>2. 鉄骨ブレースの載荷実験報告、ダイヤモンドトラスの安定・不安定に関する研究成果などの技術報告を委員相互で行った</li> <li>3. 屋内運動場の耐震診断、耐震補強例および最近の体育館設計事例を紹介し情報を共有化できた</li> <li>4. この結果、2010 年度内にセミナーを開催することの目算が立った概ね、2009 年度の目標は達成したと考えられる</li> </ol>
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小委員会開催時の委員参加率は、平均 6 割程度であり、これを向上させたい</li> </ol>